

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2022年3月6日



## 保険料・窓口負担の値上げ撤回を 京都府後期高齢者医療広域連合議会

2月10日午後、京都府後期高齢者医療広域連合の議会が開かれ、①今春から保険料の値上げ、②10月から窓口負担の値上げ、の二点を含んだ予算案が可決されてしまいました。井上議員は、これらに反対の立場から、3回登壇し、論陣を張りました。

- 1回目＝保険料も一部負担金も値上げとの来年度予算案は認められない。  
→ 残念ながら予算は可決。
- 2回目＝根本には国の値上げ方針があり、私たち府広域連合議会として、国への意見書を出そうと提案。  
→ 残念ながら否決（意見書とは、各議会が決議を挙げて国などへ意思表示すること）。
- 3回目＝「値上げ方針の撤回を求める請願書」の紹介議員として、請願書の説明。  
→ 残念ながら「不採択」に。

※ **後期高齢者広域連合**とは、75歳以上の人が強制加入させられる後期高齢者医療保険を運営する団体。各都道府県毎に、その府県内の自治体が集まって構成。議会は、京都府では京都市から4人、宇治市から2人、その他の市町村から各1人が、各所属議会から選ばれて構成。井上議員は京都市議会選出4人のうちの1人。

※ **値上げの内容**は次の通りです。

- ◆ 保険料
 

均等割	今年度	来年度
	53,110円	→ 53,420円
所得割	(総所得金額－基礎控除43万円)	
	× 9.98%	→ 10.46%
- ◆ 窓口負担（10月からの予定）  
原則、所得28万円以上、1割から2割へ

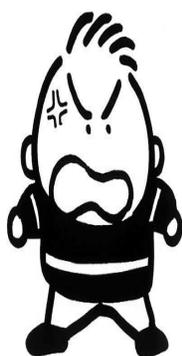
2月28日と3月1日、市議会本会議で各党代表質問が行われました。敬老乗車証改悪や学童保育料値上げ、国保料値上げ、民間保育園職員への補助金カット、市バス地下鉄運賃値上げ、消防職員削減、等々、値上げと切り捨てラッシュの来年度予算案を撤回・組み替えよと、日本共産党から3人が市長を迫りました。他党派議員は、個々の要求項目などを並べながらも、肝心の

来年度予算案については、「予算提案に込めた市長の決意は？」といった、文字通りの「質問」や「改革を推進せよ」と市民へのしわ寄せにハッパをかけるようなもの等でした。共産党議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。( )内は井上議員の感想です。

● (質問) 昨年来の「財政危機」が過大見積りであったことが分かった。「危機」を前提とした値上げ・切捨て予算案は出直しを。  
○ (市長答弁) 厳しいことになりはしない。(具体的な検討抜きに) 万一日の如く) ● ワクチンを急げ、検査拡充、保健所を各區に戻せ。  
○ 保健所一本化で迅速に対応。接種は促進中。検査は優先順位の順に。(市民に身近に予防活動やキメ細かい援助を。二回目から「8カ月」は間隔が空きすぎ。検査は順位ではなくもつ

## 財源はある 市民の暮らし福祉守れと 市長の政治姿勢を迫及

と幅広く取組むべき) ● 国保料を引き下げよ。○ 値上げ幅を抑える為に努力している。(生活が大変な時に、抑えても値上げに変わりはしない) ● 市バス地下鉄運賃は値上げするな。  
○ 安定経営実現へ、改定が必要。(「一般会計からの繰入を求めない自立経営」などと言っている場合ではない) ● 北陸新幹線や油小路通り地下トンネル計画など、大型事業のムダ



遣いは見直すべき。○ お金は国に出してもらう。(「国全額負担、市負担ゼロ」に何の根拠もない) ● 大企業呼び込み、規制緩和はやめよ。○ 企業用の土地が不足、市街化調整区域にも来てもらう。(調整区域とは都市化を抑制する地域なのに)

一律1,500円に!?

インフルエンザ  
予防接種

「自己負担区分証明書  
をもらう手続きが要  
らなくなる」との口実